

甲府市湯村温泉郷と古墳ルート



⑦②大平2号墳



⑦②大平1号墳



⑦①塩澤寺地藏堂



⑦③湯村山城遠景

3時間ほどの湯村温泉郷よくばりコース。湯村山は急な坂道もあるので歩きやすい靴で歩きましょう。



⑦④湯村山1号墳(A)



⑦⑤万寿森古墳



⑦⑥加牟那塚古墳

湯村温泉郷
約1200年前に弘法大師が開いたといわれ、江戸時代には葛飾北斎の浮世絵にも描かれた。太宰治や松本清張などが執筆のために滞在した宿もある。

⑦③湯村山城
武田信虎によって築かれた山城。長野方面や甲府盆地一帯の見はらしがいい。土塁や石積みを見ることができ、一の郭跡にある石で囲われた井戸が見所。甲府市史跡

⑦②大平1号墳・2号墳
地藏塚、こもり塚とも呼ばれる円墳。奥にあるのが1号墳、手前が2号墳。横穴式石室が格好いい。中を懐中電灯で照らすと見える一番奥の壁に縦に置かれた2つの岩が印象的。

⑦①塩澤寺
弘法大師が開いたといわれる真言宗のお寺。国の重要文化財の地藏堂、県有形文化財の石地藏や板碑、無縫塔など、たくさん文化財がある。毎年2月13日・14日に行われる厄除地藏尊祭は多くの人で賑わう。

⑦④湯村山1号墳(A)
※石室には鍵がかかっているので見学は山梨県が甲府市に連絡が必要。

⑦⑥加牟那塚古墳
6世紀後半の円墳。長さ16mの横穴式石室は県内で2番目に大きく、使われた石材も大きい。家形埴輪や人物埴輪などが見つかった。墳丘に登ると富士山が見える。県史跡。※

⑦⑤万寿森古墳
6世紀半ば頃に造られた円墳。県内で一番古く、三番目に大きい横穴式石室の古墳。江戸時代には火薬庫として利用されていた。県史跡。※

⑦④湯村山1号墳(A)
1号墳(A)は石だけを積み上げて造った積石塚と呼ばれる古墳。そのほか、5つの古墳が残る。B、C、Dが見つけやすい。湯村山には大きな石がごろごろ点在しているので、この山の石が使われた可能性がある。